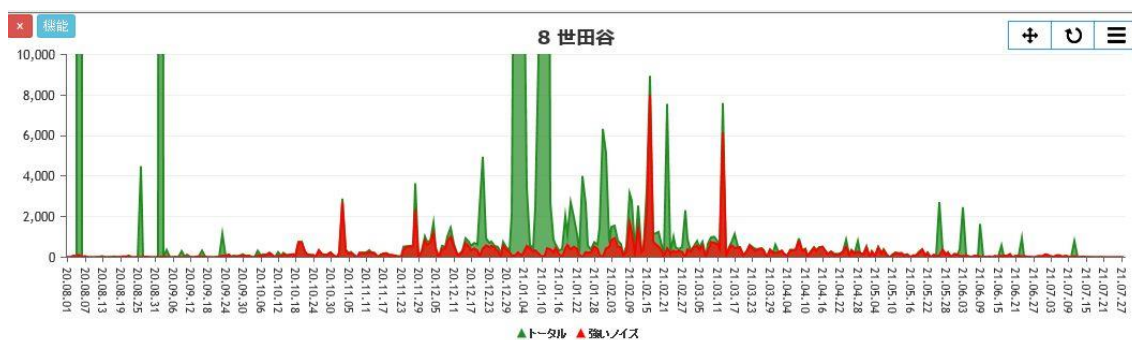


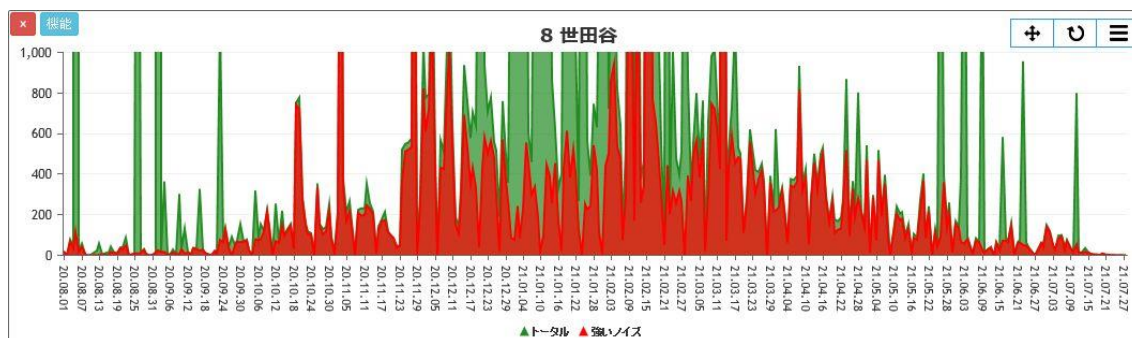
昨日（7月26日）、お知らせに いままでの関西の長期データの減衰—収束傾向について1つの大地震ではなく、タイミングが同じだが、関東～中部、北陸で、別の大地震の前兆を捉えている可能性も考えてみました。そこで関東の複数のデータについて360日（1年間）の日毎データを見てみると、まず世田谷のデータが総量は少ないながら、赤の強いデータがゆっくりと減衰—収束してきています。それ以外で長期に渡って大きな山を作っているのは 五反田、八王子、大島などが、同じ傾向になっています。また中部、北陸地区では 安曇野、福井にも同様の傾向がみられます。

以下に各地の本日のデータを 360日と180日の日毎データを主として載せますので参考にしてください。

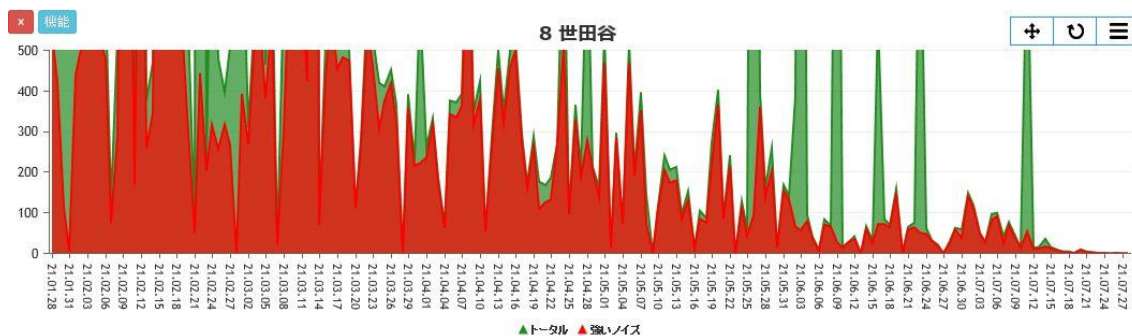
世田谷 360日（日毎）データ



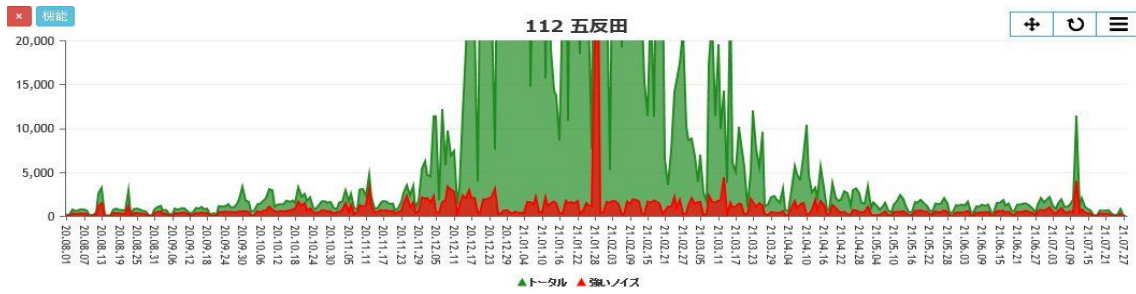
世田谷 360日（日毎）データ（拡大）



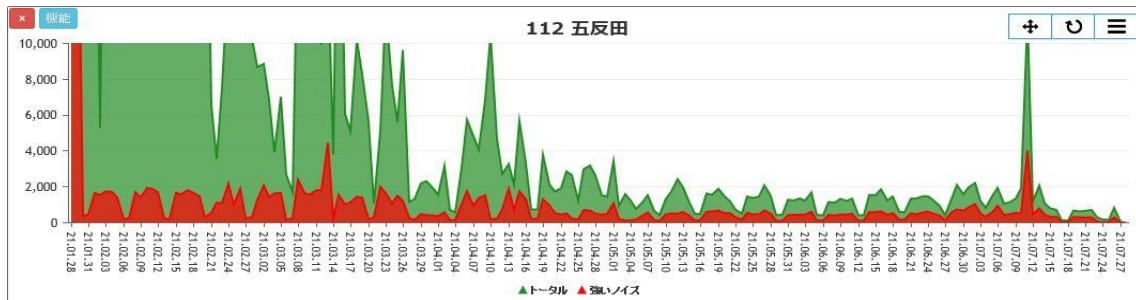
世田谷 180日（日毎）データ（拡大） > 赤の強いデータに収束傾向がみられる。



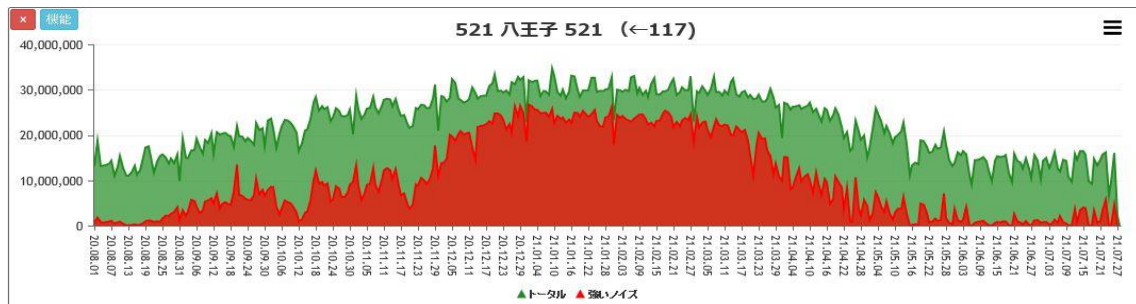
五反田 360日（日毎）データ（拡大）



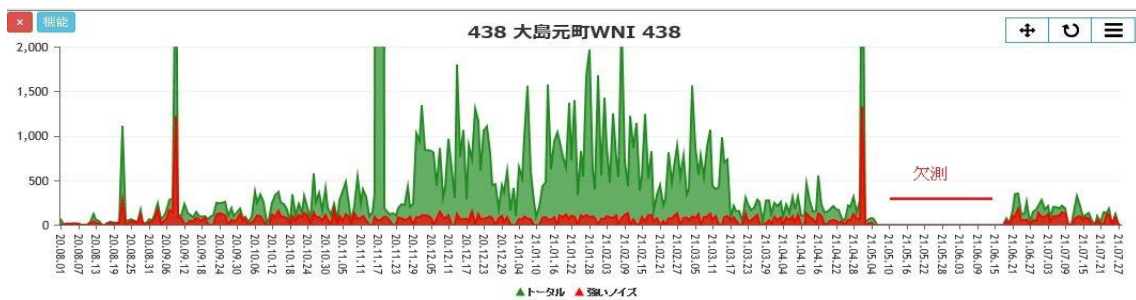
五反田 180日（日毎）データ（拡大） > ゆっくりとした収束傾向がみられる。



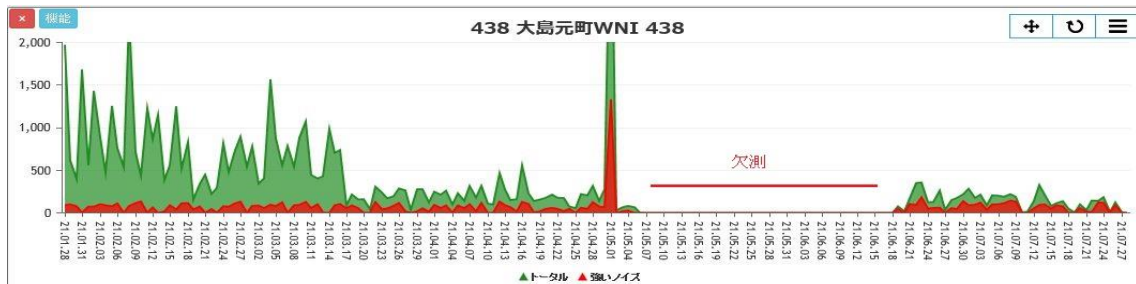
八王子 360日（日毎）データ > 赤のデータは1度収束して上昇してきている。



大島 360日（日毎）データ（拡大）

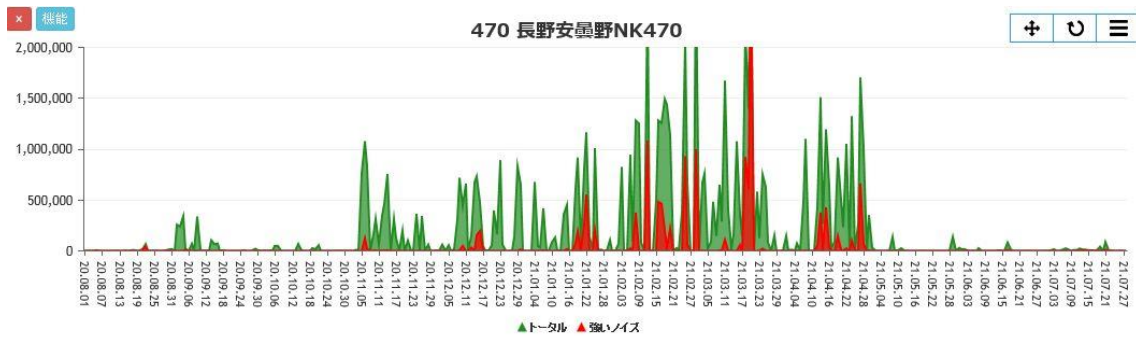


大島 180日（日毎）データ（拡大） > 欠測があるが収束傾向にある。

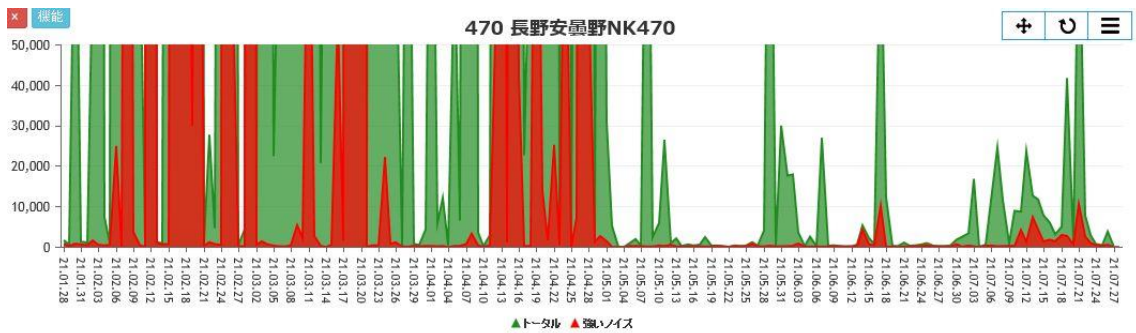


中部地区>

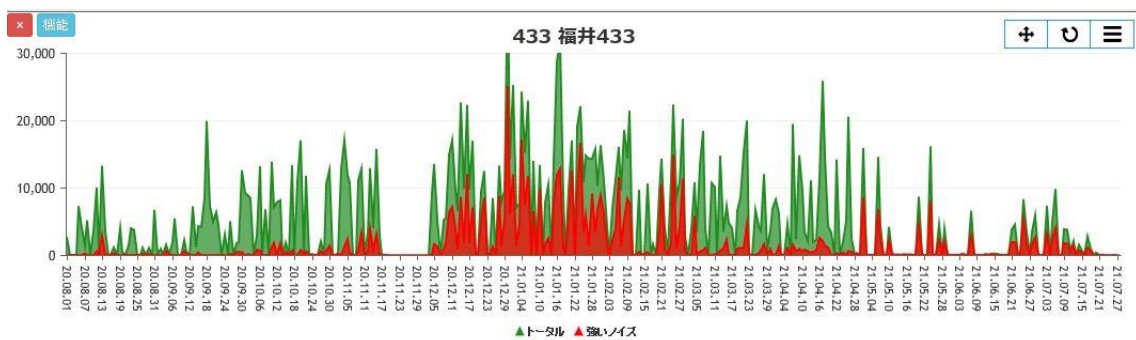
安曇野 360日(日毎)データ(拡大)>収束傾向がみられる。



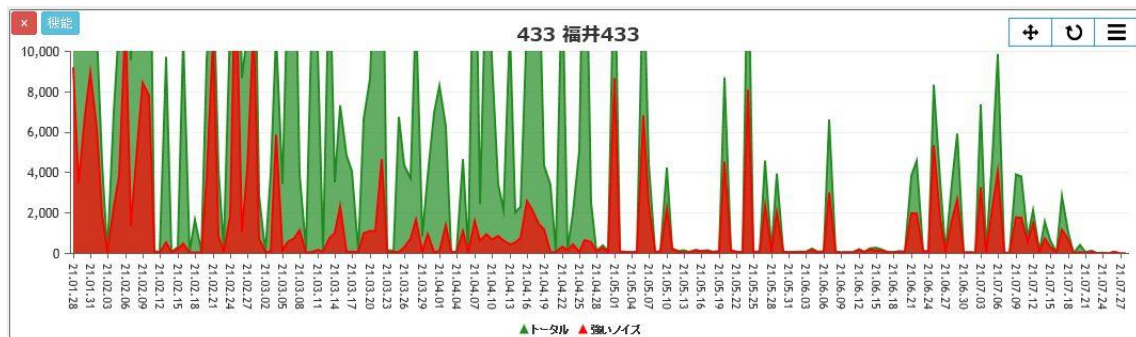
安曇野 180日(日毎)データ(拡大)



福井 360日(日毎)データ(拡大)

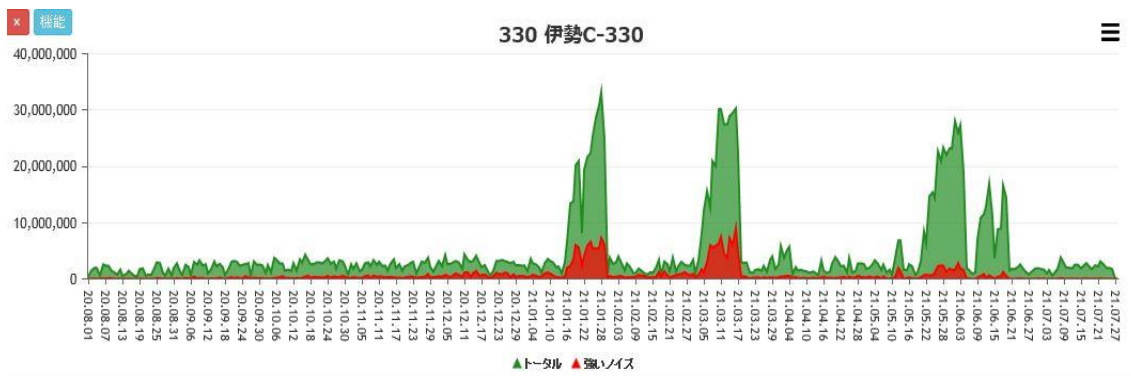


福井 180日(日毎)データ(拡大)>収束してきている。

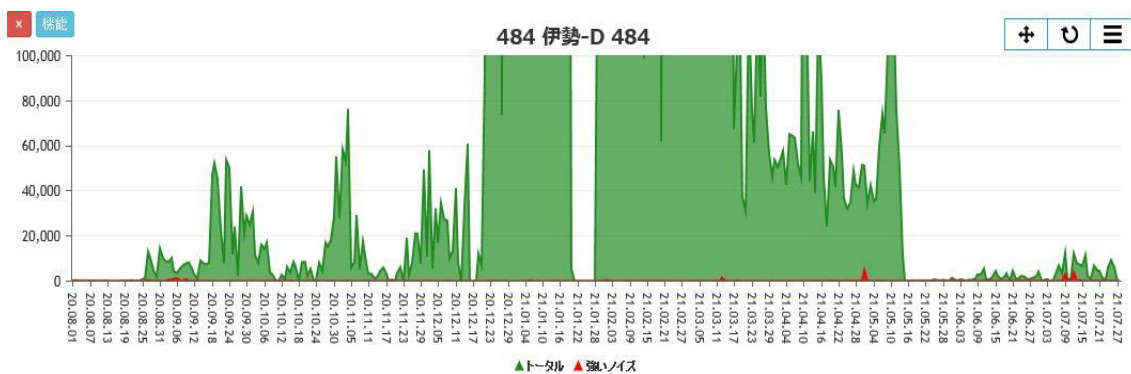


<伊勢より西側の長期データ>

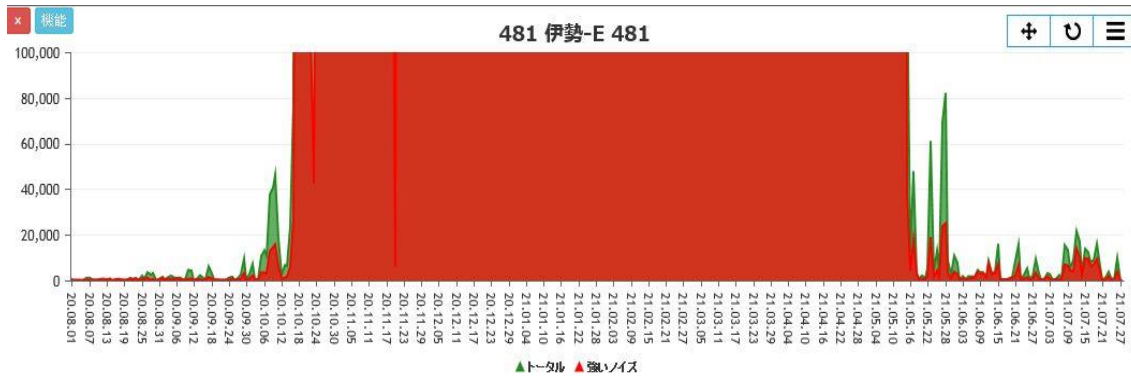
伊勢C330 360日(日毎)データ



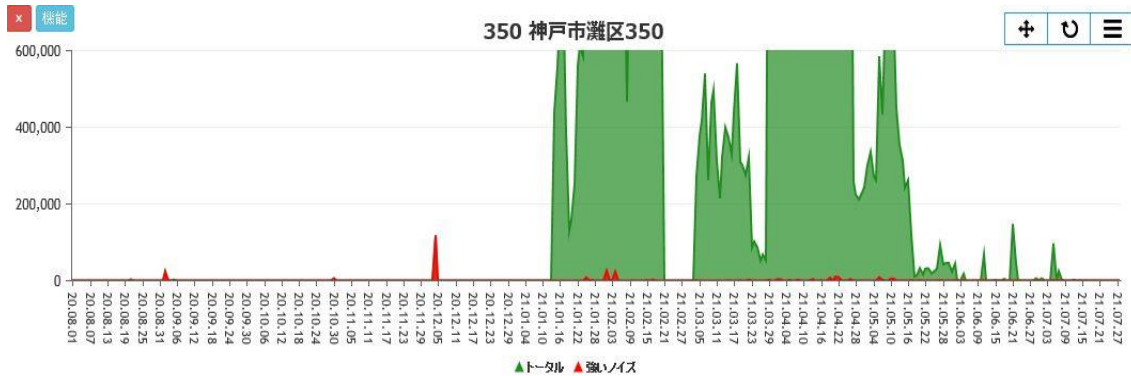
伊勢D484 360日(日毎)データ(拡大)



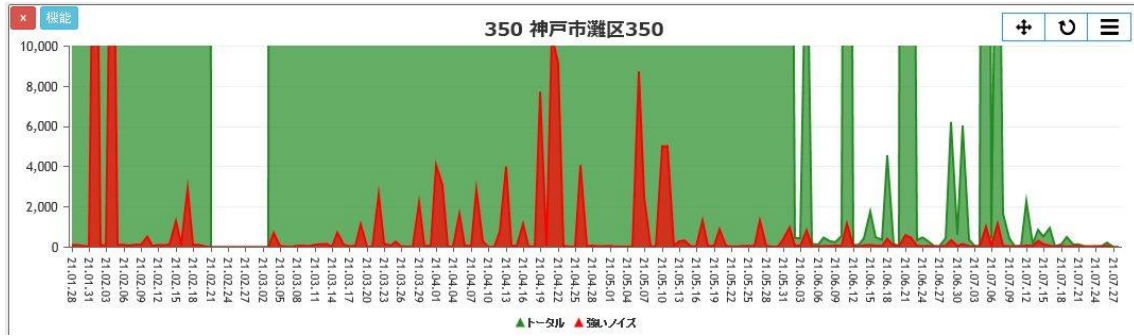
伊勢E481 360日(日毎)データ(拡大)



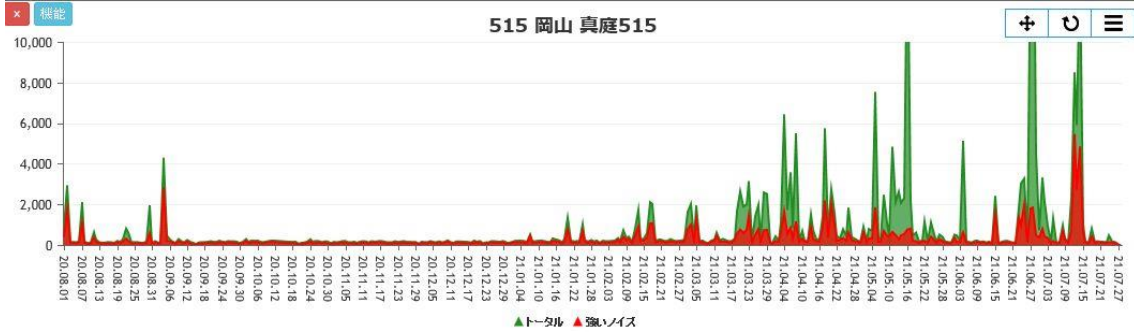
神戸市灘区 360日(日毎)データ(拡大)



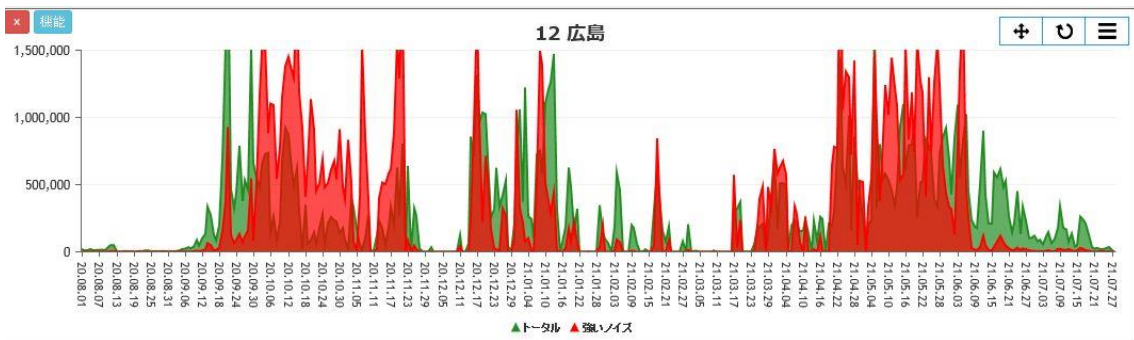
神戸市灘区 180日(日毎)データ(拡大)



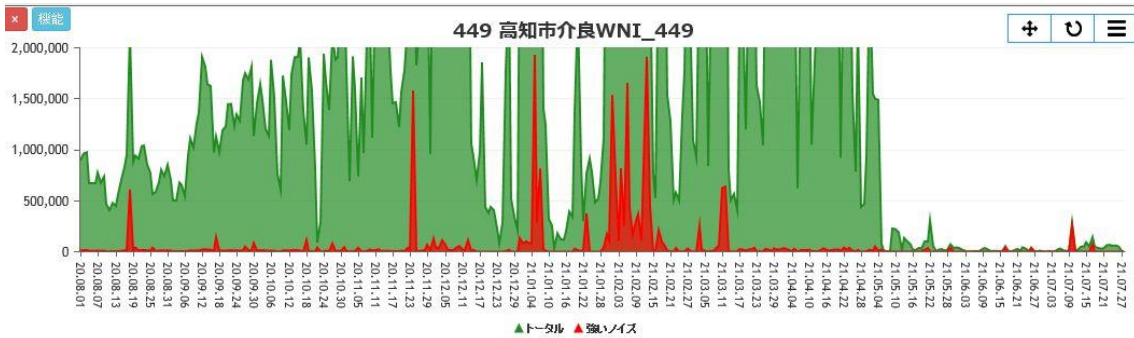
岡山 真庭 360日(日毎)データ(拡大)



広島 360日(日毎)データ(拡大)



高知市介良 360日(日毎)データ(拡大)



位置関係

